

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 59 (年4回発行)

■発行日 平成23年1月1日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部
三春町字大町178 (旧公民館内)
TEL/FAX (62) 3988

平成二十二年度 まちづくり懇談会

十一月十一日、三春町長、三春町議会議長をはじめ、役場各課長の出席のもと、三春まちづくり協会主催「平成二十二年度まちづくり懇談会」が開催されました。



最初に幕田協会長から、今三春町は大きく変わろうとしているが、本日のこの会を有意義なものにしたいとのあいさつがあり、その後、協会長の司会で懇談会が進められました。

■鈴木町長あいさつ要旨
三春地区のまちづくり協会の皆さんには、自分たちの地域は自分たちで作ろう

新年のあいさつ

三春まちづくり協会長 幕田勝寿



新年あけましておめでとうございます。皆様には、新しい年の初めを迎えられたこととお慶び申し上げます。平成二十二年度三春まちづくり

協会事業も、クリーンアップ作戦、城山公園事業のアジアイ植樹、敬老会の支援、石柱の設置、広報「三春わが街」の発行等々、各部長さんを中心に委員の皆様方の努力と町民皆様のご協力により順調に推進していることに対し心から感謝申し上げます。

三春町も桜川河川の改修、国道二八八号線バイパスの全線開通に向けての工事、ヨークベニマルの移転等が進行しており、何年後には、新しい町が出来上がると期待しております。

三春まちづくり協会では、今年もより良いまちづくり活動を進めてまいりますのでご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

という意欲のもとに活発に活動してもらっている。特に出前懇談会を毎月活用していたことはありがたい。

おかげさまで、皆様のご協力をいただき、厳しい状況の中、町の事業も計画通りに進んでいることに感謝する。今日は有意義な懇談会としたい。

■本多議長あいさつ要旨

日頃のまちづくり活動に感謝と敬意を表す。このまちづくり懇談会には議会も一緒に参加して、町民の声や各地域での考え方を聞いていきたい。社会状況、経済状況が厳しい中ではあるが、皆様のご協力をいただいでしっかりと進んでいきたい。

町役場各課から説明事項については次の通りです。

■町からの説明事項

①平成二十二年度当初予算概要と主な事業について (財務課)

・ 予算の概要
・ 主な事業 (重点施策)
・ 借入金と預金の額
・ 財政健全化判断比率

【重点施策】
1. 教育環境の充実
2. 産業興し
3. 訪ねてみたくなる地域づくり
4. 安全で安心して暮らせる環境創造
5. 少子化対策
6. 町民の健康増進と福祉施策の充実
7. 協働のまちづくり

②生活習慣病の予防と適正受診のお願い (保健福祉課)

医療費の約3割は生活習慣病に由来しており、医療費の抑制に協力願いたい。そのためには
・ 特定健診を受け
・ 生活習慣病を早めに発見し
・ 早めに治療、コントロールすること

③一級河川桜川改修事業等について (建設課)

平成二十四年度 (平成二十五年度) 全線完成を目標に事業が進捗中

④国道二八八号線三春西バイパス改築事業等について (建設課)

平成二十四年度 (平成二十五年度) 全線完成を目標に事業が進捗中

⑤「三春秋まつり二〇一〇」開催結果報告について (産業課)

入場者数
六日：三六三一人
七日：五九二一人
合計：九五四三人
※三春まちづくり協会で秋まつりに参加しました。

⑥新三春中学校建設事業等の進捗状況について (教育課)

二十三年三月までに基本設計を進め、七月に実施設計を完了。秋には工事に着手し、平成二十四年十二月に竣工予定。

⑦「まほらっこ教室」について (生涯学習課)

活動指導員を募集している。謝礼は一回千円。連絡は生涯学習課へ。

⑧三春町の生活排水処理について (企業局)

公共下水道事業は、一本松、八島台の一部、中町、大町、荒町、北町が整備され、そのうち六〇%弱が使用している。今後、整備を予定している馬場、尼ヶ谷、新町、桜ヶ丘、八島台の一部、栄町、担橋などの地域の意向調査を行う。

⑨ヨークベニマル三春店移転計画の進捗状況等について (産業課)

新店舗計画
延床面積：七七七坪
売場面積：五〇二坪



⑩各地区からの要望事項

・ 町道および公園 町営住宅周辺の草刈・整備等について
・ 消火栓用ホース等の定期点検について
・ 無居住住宅の実態把握と活用について
・ 土手の草刈について
・ 県道の歩道について

続いて質疑となり、次のような質問が出され、担当課から回答がありました。

○保健福祉課から後発医薬品 (ジェネリック) についての説明があったが、実際には患者の立場としてはお医者さんになかなか言いにくい。町からも指導してもらえないか。

○公共下水道の利用率は現在六〇%弱となっているが、この一年でどれくらい利用者が増えたのか。

○町の重点施策「訪ねてみたくなる地域づくり」に関する取り組み」の中の定住・二地域居住事業についてどのような取り組みをしているのか。

○ヨークベニマル移転予定地の向い側の蔵を整備しているようだが、どのような利用を考えているのか。

※当日の資料は三春まちづくり協会事務局にあります。

「町民と議会が協働するまちづくりをめざして」

地区内在住町会議員との懇談会レポート②

去る二月一日、第二十三回定期出前懇談会として「地区内在住町会議員との懇談会」が、「議会の責務」と、「議員定数適正化特別委員会」をテーマに開催されました。

前号では、テーマを選んだ理由とまちづくり協会事業活動との関わりについてレポートしました。今回は懇談会の概要と特徴的な内容について取りまとめお知らせします。紙面の関係上、発言内容等を要約して掲載します。あらかじめお断り致します。



【議会の責務―町民総意の把握について】

「町民自治基本条例」第十三条に「議会は、町民総意の把握に努力する」とありますが、どのようなあり方で行われているのか尋ねました。

- ① 象徴的で漠然としている。
- ② 議会として個別の考えを述べるのではない。
- ③ 議会は、町民の代表として行政権者に対し、必要かつ適切な行政サービス（受益）と適正な課税（負担）を執行することを求め、監視することが役割。
- ④ 総意の形成、把握には、情報公開を密にする必要があり、いろいろな集会の場へ参加し、意見を集約する。
- ⑤ 議会としては、一般質問の傍聴等の機会を多く活用してもらい、議会の動向を知ってほしい。
- ⑥ 議員の責務は、町民の代弁者として執行側に提起していくところにあり、後援会での対話や支持者からの情報収集をおしり判断する。
- ⑦ まちづくり懇談会等で集約できた町民の意見・要望を素材に判断する。
- ⑧ 一般の町民、支持・支援者の個々の話しや意見を集約し、大きな町の行政テーマとして発展させる。
- ⑨ 議決にあたっての判断材料として最大の要件であるが、行政執行者側から、議会開催や議案の通知が一週間程度の現状ではない。



この後、参加者から質疑・意見が出され議員から二、三応答がされました。

⑩ 議会として、町民を対象に出前懇談会のようなことを開催できないか。

⑪ 「町民自治条例」第二条（定義）では、「議会とは三春町議会及び三春町議会議員をいう」としている。

⑫ ITを活用し、議会情報をリアルタイムで提供できるよう検討が必要では。議決後の情報だけでなく、提案あるいは審議過程で情報を提供すれば、町民の意向を把握するのに有効ではないか。

その後、「議員定数適正化特別委員会」の設置に関して、各議員の考えを述べ、質疑となりましたが、紙面の関係から、次回以降レポートすることとします。

《参考》

三春町町民自治基本条例（議会の責務）第十三条 議会は、地方自治法に定める権限を有

し、町民総意の把握に努力するとともに、その権限を有効に発揮するものとする。

2 議会は、情報公開によるほか、会議の公開及び積極的な情報提供を図り、開かれた議会運営に努めなければならない。

3 議会は、その機能を遂行するにあたっては、町民の信託に応えられるよう能力の向上に努めなければならない。

編集者の目

町民一人ひとりの声を議会へ結集

現在の法制下では、町の政策は町議会が決議され、行政執行者により具体的な事業として実施されます。議会では、町民の代議者として選挙で選ばれた町会議員による審議・表決で決議されますが、それは町民の総意と見なされます。

各議員が述べている通り、事案について町民の皆さんがどのような判断を持つかを把握し、それを議会として最大の代弁者としての最大の責務です。議員自身の識見と技量の研鑽は勿論、あらゆる機会を捉え町民の意見・要望・思考を集約することに常に心掛けています。

意思の表明は町民の責務のひとつ
後援会・所属組織団体・

支持者からの意見、陳情による要請、各種会合・懇談会での意見、要望等、議員が町民の意思を把握できる機会は様々ですが、町民がそれぞれの考えを議員をとって議会へ反映できる機会でもある訳です。

特に、誰でも自由に参加できる懇談会は、絶好の機会であり、自らの意思を町政へ反映させることは、住民自治の基本である町民の権利であると同時に、責務でもあると言えます。

部会だより

福祉部会

○「三春町健康づくり推進員」研修会参加
五月二十一日（金）三春町保健センターで、「三春町健康づくり推進員」の委嘱状交付及び研修会が開催されました。

町では、町民一人ひとりが健康で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。そして、地域の中核となつて地域健康づくりのサポートを担う推進員に、各まちづくり協会長の推薦者を選任し委嘱することになりました。

三春まちづくり協会では、福祉部会員と大内昌子事務局長が委嘱され研修会に参加しました。

○施設ホームU視察
六月十日三春町敬老園視察訪問予定

街並部会

お詫びと訂正
前回、広報「三春わが街」（第五十六号）に掲載しました石柱設置記事のうち「八十内」の説明文に一部誤りがありましたので、謹んでお詫び申しあげ、次号のとおり訂正させていただきます。

【八十内（やそうち）】
○国道二八八号バイパス桜ヶ丘地内
・三春藩筆頭家老荒木家の下屋敷があり、近年に入り、弓町新地の遊廓島屋様の白い洋風の別邸があった。

出前懇談会は町民の意見表明の絶好の機会

第27回定期出前懇談会
と き■6月9日（水）
午後7時から
ところ■三春交流館
2F会議室C・D
テーマ■滝桜と町の観光

編集後記

三春町に一番人が集まる季節、それは桜と共にやってくる。全国各地から、もちろん滝桜が目当てだ。私はこの数年満開になる前、七分咲のころに会いに行く。なぜか、滝桜の季節が近くなると胸がときめく。全国各地から来る人々も同じ思いではないか▼滝桜の周りを歩いていると「カメラのシャッターを押して下さい」と頼まれる。ポーズをとる顔はみんな笑顔だ。バックの滝桜が人生の応援団のように写っている。私は、滝桜が見える下の店でコーヒを飲みクッキーを口に運ぶ、最高の気分だ。

「滝桜よ、ありがとう！」と心の中でつぶやく。コーヒを飲みながら、滝桜に向かう多くの人々を見ていると、あらためて滝桜の魅力と偉大さを感じる▼一人ひとりに残る滝桜には違いはあっても、人と人の出会いや三春町の景色や食べ物忘れられる事は出来ないうでしょう。そして滝桜を支える多くの町民の結集は見事であり、素晴らしいことだと思ふ。私は多くの町民の皆さんが滝桜に対する思いと同じ様に、三春のまちづくりに積極的に参加してくれる事を期待したい。

（橋本）

コミュニティだより

「三春わが街」第五十七号
発行日 平成二十二年六月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広報部 会
三春町字大町一七八
（六二）三九八八



この石碑は、三春藩筆頭家老荒木家の下屋敷の跡地に建てられたもので、その高さは約1.5メートル、幅は約0.5メートル、厚さは約0.2メートルです。